

中国の記事から（畜産）

2006年11月20日号

目次

◎北京市、使用禁止のスーダンレッド含むアヒルの卵発見

【経済日報 2006年11月15日】

◎国家税務総局、家禽業界向けの優遇税制を延長

【国際商報 2006年11月16日】

◎江蘇省、1～10月のハチミツ輸出が大幅減

【国際商報 2006年11月17日】

◎北京市、使用禁止のスーダンレッド含むアヒルの卵発見

【経済日報 2006年11月15日】

北京市内で販売される河北省産のアヒルの卵から使用が禁じられているスーダンレッドが検出されたことを受け、北京市食品安全弁公室は14日、調査した22サンプルのうち6つからスーダンレッドBが0.041ppm(mg/kg)～7.18ppmが検出されたと発表した。スーダンレッドが検出されたのは河北省産5個、湖北省産1個。すでに関係部門が調査に乗り出し、販売業者に対してはスーダンレッドを含むアヒルの卵の販売禁止、回収、廃棄を指示している。

また、国家質検総局(国家質量監督検験検疫総局。製品品質を管理する)も同日、全国の食品品質監督部門に対してアヒルの卵メーカーの検査を行うよう指示。スーダンレッドが検出されたメーカーについては直ちに生産・販売停止、製品差し押さえ、回収を命じるよう指示した。

◎国家税務総局、家禽業界向けの優遇税制を延長

【国際商報 2006年11月16日】

国家税務総局は14日、家禽業界を対象とする優遇税制を延長する「通知」を発表した。2006年7月1日から2006年12月31日にかけて、家禽の加工業者、冷蔵・冷凍業者を対象に、加工・販売する製品の付加価値税を還付、都市建設税と教育費付加価値税を免除する。また、家禽の飼育、加工・冷蔵冷凍を行う業者の場合、家禽の飼育、加工、冷蔵・冷凍業務で得た収入に課され

る2006年度企業所得税を減免していく。家禽殺処分にとまなう政府からの補助金について、企業所得税、個人所得税を免除する。各地の担当部門に対しては、家禽製品輸出による輸出税還付を確実に行うよう指示している。

各省(自治区、直轄市)は、家禽の飼育、加工、冷蔵・冷凍企業と個人事業者が土地、不動産、自動車・船舶などを使用する場合、2006年度の土地使用税、不動産税、自動車・船舶使用税を適宜減免できるとしている。

◎江蘇省、1～10月のハチミツ輸出が大幅減

【国際商報 2006年11月17日】

江蘇省張家港市税関は先ごろ、1～10月の全省ハチミツ輸出量は1万2173トン(39.0%減。前年同期比、以下同じ)、輸出額は1639万ドル(14.0%減)を記録したと発表した。全て一般貿易によるもので、米国、日本向けが主な輸出先。日本が5月末に残留農薬規制強化策ポジティブリスト制を実施、これにより食品1kgあたり中の農薬・化学物質残留量が0.01mg以下と定められ、同省ハチミツ生産・輸出業者のコストが増加、また、米国も中国から輸入されるハチミツを対象に反ダンピング調査を実施中であることから、中小以下の業者は日米向け輸出から撤退せざるを得なくなった。中国もハチミツ品質基準を制定したことから業界再編を促すものとみられている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。